

グリーントピックス

北海道立林業試験場

No.5

トドマツの球果害虫



トドマツタネバエはトドマツ球果を加害する害虫の大半を占めている大害虫です。幼虫は軸に沿って種子を食べながら進み、孔道にたまったヤニは1カ所から外へ出します。この排出されたヤニの塊りで、タネバエの被害であることがすぐ見分けられます。

また、大量の糞塊をつけた球果もよくみられますが、これはマツトビマダラシムシその他の蛾類による被害です。

トドマツタネバエによる被害球果ヤニの塊りをつけているのが特徴



蛾の幼虫による被害球果糞塊が特徴



トドマツタネバエの幼虫



トドマツタネバエの成虫(体長6mm)